

スクールカウンセラー（SC）だより

皆さん、自分や他人の性について考えたことはありますか？最近はセクシュアリティやLGBT、多様性といった言葉がよく聞かれるようになりましたが、今日は少し詳しく説明します。

今回のテーマ『人の性のあり方～セクシュアリティ～』

セクシュアリティという言葉

セクシュアリティとは、私たちの性に関わる全てのことを指しており「人間の性のあり方」と言えます。みなさん、自分自身の性についてどれくらい知っていますか？

実は、私たちの「性」には三つの要素があります。



からだの性

これは生まれたときに割り当てられた、生物的・身体的な性のことです。その特徴にあてはめて、女性や男性と区別がされます。

こころの性

これは自分自身をどのような性と捉えているのかというものです。男、女に限らず、わからない・模索中・そもそも区別したくない、と色々なあり方があります。

好きになる性

これはどのような性に恋愛・性的感情を抱くかというものです。女性が好き、男性が好き、どちらも好き、どの性にも感じないなど、これにも様々なあり方があります。

これらの要素によって私たちのセクシュアリティは定義づけられます。つまり「自分の性のあり方」が見えてきます。そうやって定義づけられたものが「LGBT」となります。

LGBTとは

本来、私たちの性は一人ひとり違うものです。しかしこの社会では便宜的に「普通はこう」と決めて、当てはめていくことが多いです。その当てはめ方（当てはめることが必要かも疑問ですが…）の一つとして、LGBTという言葉があります。これは、以下の頭文字をとった言葉です。

- Lesbian (レズビアン) 「こころの性が女性で、好きになる性も女性」
- Gay (ゲイ) 「こころの性が男性で、好きになる性も男性」
- Bisexual (バイセクシュアル) 「好きになる性が男性と女性、両方」
- Transgender (トランスジェンダー) 「割り当てられた性に違和感がある人」



しかし、上記でも説明したように性のあり方は人それぞれ違います。ここに表記されている以外にも色々な要素でその人の性のあり方は変わります。

LGBTに当てはまる人は11人に1人とも言われています。これは左利きの人と同じ割合です。「今まで会ったことがない・近くにはいない」ということはほぼありえない数字です。ではなぜ居ることが分からないのか？それはもしかしたら「言えない・言ってはダメな空気」を私たちが作っているからかもしれません。

みんな違って当然という考え方で、今からでも一人一人の性を大切に尊重していけたらいいです。

※スクールカウンセリングでは、あなたの性のあり方についても一緒に考えさせてもらいます。秘密は絶対に守ります。「否定されるかも…」といった不安もあるかもしれません、そんなことは絶対にしないし、不安な気持ちもちゃんと聞かせてもらいます。カウンセリングの予約の仕方は裏面を参考にしてくださいね。

SCの使い方について

□ カウンセリングの申し込み方法

以下の方法で、できるだけ事前の予約をお願いしています。

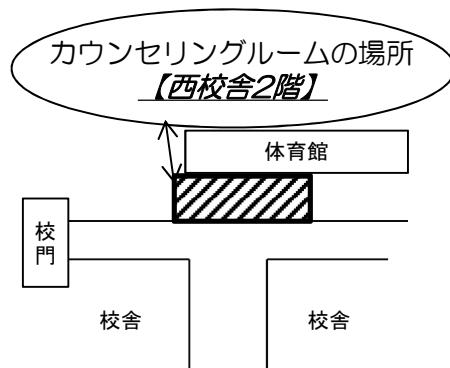
予約をお願いするのは、大切なお話をじっくりお聞きしたいからです。

①SCに直接言う（カウンセリングルームか職員室にいます）

②担任の先生か保健室の神山先せんせー、または森岡先生に伝える。

③学校に電話して予約する（075-331-6131）

※保護者の方もぜひ、ご利用ください。



スクールカウンセラーの来ている日



11月：9日（月）、16日（月）、30日（月）

12月：7日（月）、14日（月）、21日（月）

※相談時間は月曜日、10時～18時までです。